

## 5 ふるさと教育

### ふるさと教育の目標

- (1) ふるさとにかかわる体験活動を通して、そのよさを見付け、ふるさと南外を愛する生徒を育成する。
- (2) 地域の人たちとの交流を通して、地域の一員としての自覚を高め、人間としての生き方を学び取る生徒の育成を図る。
- (3) 南外の自然や歴史・文化・産業等に触れ合う機会を充実させ、郷土の未来を担っていこうとする生徒の育成を目指す。

### 指導の重点

- (1) 郷土の自然や風土、文化、先人の偉業などに親しませ、郷土に対する意識の高揚と誇りをもたせるとともに、ふるさとの未来について考えさせる。
- (2) 地域での直接体験を積み重ねる中で、地域の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を深めるとともに、自ら学ぶ意欲や思考力、表現力を育成する。
- (3) 地域の様々な人たち、幼稚園・小学校との連携を密にしながら、心を通わせコミュニケーション能力を育成する。
- (4) 集団宿泊活動や職場体験活動等によって、自分を見つめながら望ましい勤労観・職業観を身に付けさせる。

### キャリア教育の視点を重視したふるさと教育の推進

「生きること」は「学ぶこと」・「働くこと」

自ら学ぶ力

豊かな心と郷土愛

高い志と公共の精神

#### 各学年の重点目標

第1学年 夢を描く	第2学年 夢に近づく	第3学年 夢を実現を目指して
ふるさとのよさを他地域と比較して学び、ふるさとの明日を担おうとする志をもつことができる。	ふるさとの将来を考え、今の自分ができることを考え、実践することができる。	社会の一員として、ふるさとを愛し、ふるさに貢献することができる。

## 地域の教育資源（ひと・もの・こと）を活用した学習活動

■ 地域の人やもの、自然のすばらしさに気付き、体感する学習活動の充実

■ 問題意識をもち、自ら考え、もっと学びたいという意欲が高まる学習活動

■ 地域の教育資源と触れ合い、豊かな人間性や社会性が育まれる学習活動

### 教科

○地域の素材や教育力を生かした学習を工夫する。

### 道徳

○家庭や地域の人人と触れ合うことのできる場を積極的に設け、開かれた道徳教育を目指す。

### 総合的な学習の時間

○地域の自然や歴史・人・文化・産業について、興味・関心のもてる題材を工夫し、自ら探究しようとする意欲を高める。

### 特別活動

○学級活動、生徒会活動等、生徒の自主的活動を生かしながら、地域の一員としての自覚を高める。

## 具体的施策

- (1) 地域と自分の関わりや進路の面から将来の夢や目標などを考えさせる。
- (2) 礼儀、家族、自然愛、伝統の継承などの内面化を図ることで、実践力を培う。
- (3) 地域の方々から地域行事や家庭のしきたり、伝統文化などの継承について協力を仰ぐ。
- (4) 職場体験や宿泊体験、修学旅行、上級学校訪問の機会を生かし、ふるさとのよさを再発見させるとともに、高い志をもってたくましく生きる生徒の育成を図る。
- (5) 国の重要文化財である「南外の仕事着」を教科や総合で扱い、地域祭等で発表することを通して文化財の理解と継承を図る。
- (6) そば打ち体験や茶道体験、檜岡焼体験等、関連する教科、総合的な学習の時間、道徳、特別活動などを活用して、計画的・継続的に郷土を愛する心の教育を実践する。
- (7) クリーンアップやペットボトルキャップ回収、幼稚園・保育園・高齢者福祉施設訪問等、地域の福祉、奉仕活動に取り組む場を設定し、地域の一員として行動できる生徒の育成を図る。
- (8) サツマイモや花を育てる活動を通して、働く喜び、自然への親しみを感じさせ、心豊かな生徒の育成を図る。